

テーマ「構造設計と BIM の利用環境・その変遷」 参加状況とアンケート結果

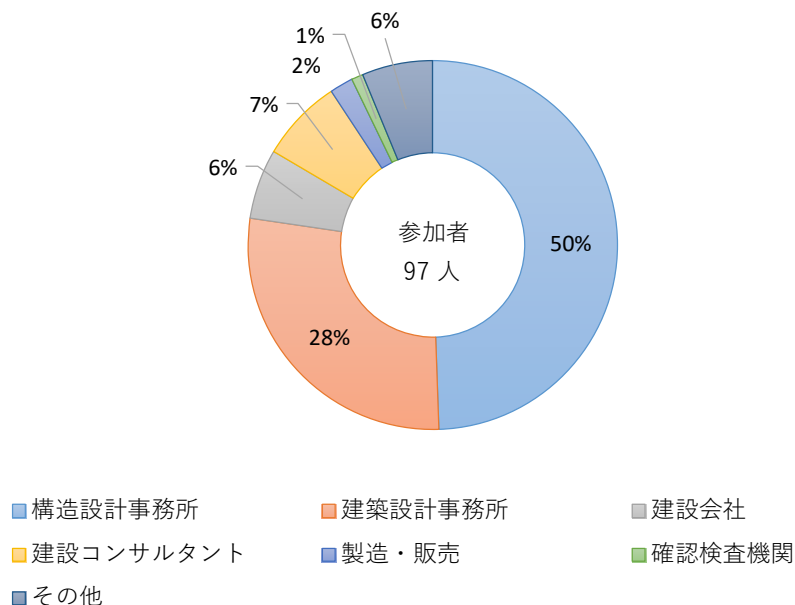


図 2-1：第2回 参加者の業種

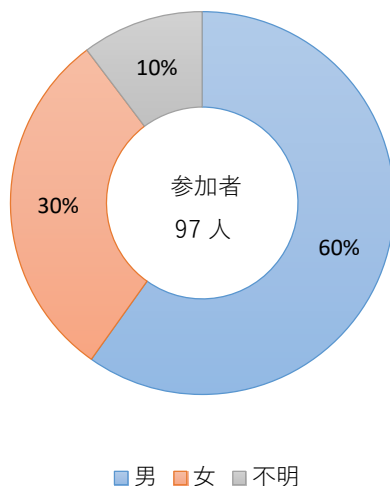


図 2-2：第2回 参加者の性別

vol.1 第2回の申し込みは115人で、当日の参加者は97人でした。(参加率84%)

図2-1に示すように、参加者の5割が構造設計事務所の方でした。建築設計事務所と合わせると設計業務に携わる方の参加は約8割となっています。第1回目と同様の参加傾向となっています。

性別は、図2-2に示すように6割が男性、3割が女性でした。

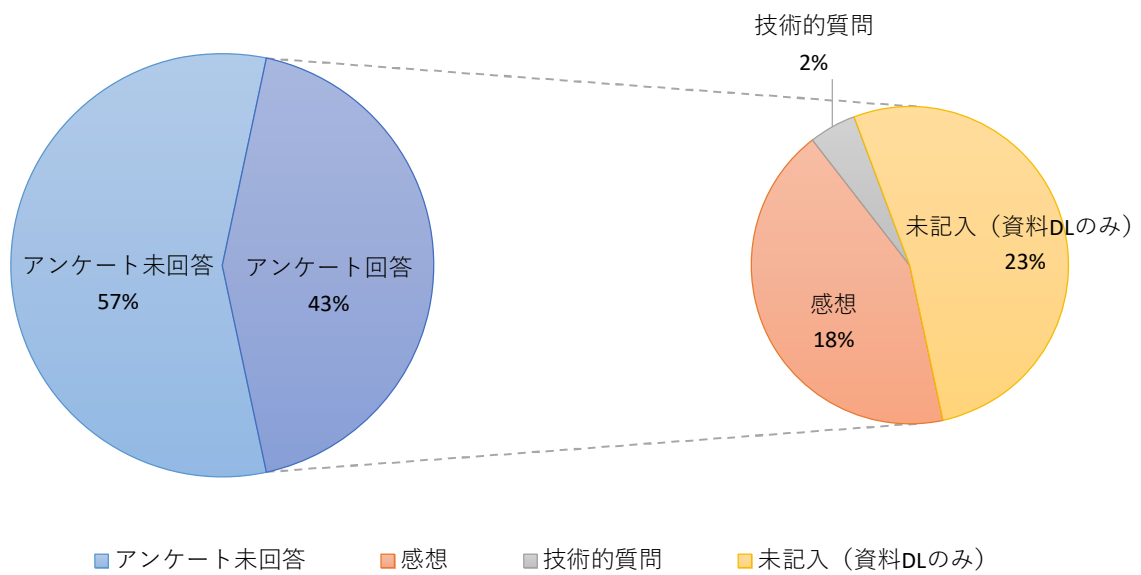


図 2-3：第 2 回 アンケート結果

図 2-3 は第 2 回のアンケート結果です。参加者の約 4 割の方（97 人中 42 名）がアンケートおよび資料ダウンロードを行っています。第 1 回セミナーと同様、感想では「大変参考になりました」、「非常に面白かった」といった内容でした。また、BIM 操作に関わる技術的な質問も出ています。

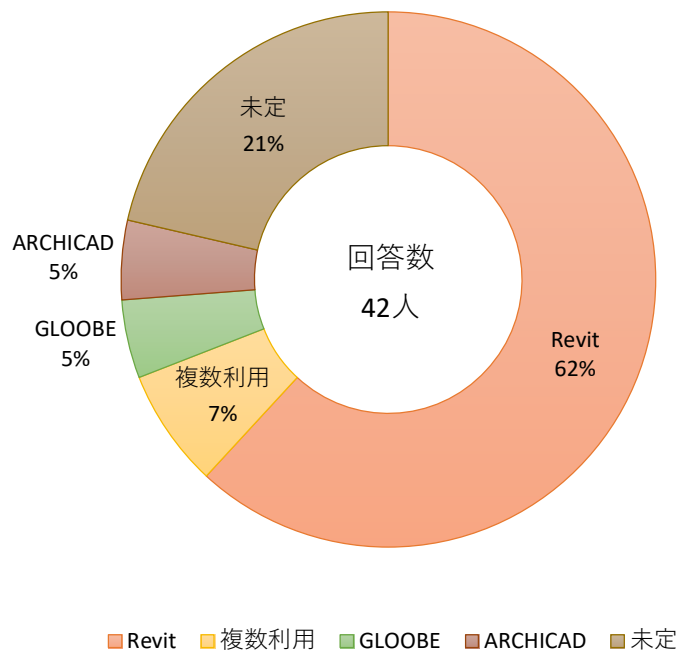


図 2-4：現在使用している BIM ツールについて

第2回のアンケートでは、現在使用中の BIM ツールについて調査をおこなっています。図 2-4 にその結果を示します。BIM ユーザーの 6 割以上の方が Revit (Autodesk) を使用しています。なお、BIM をまだ使用していない方は約 2 割となっています。

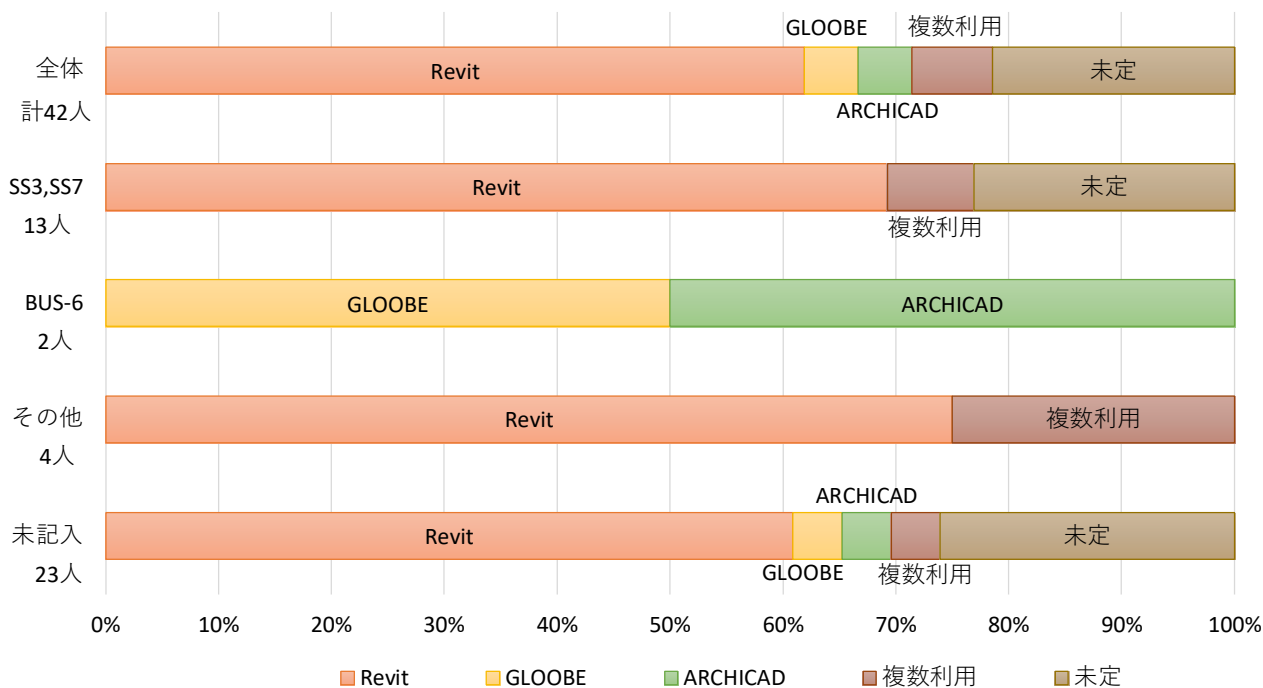


図 2-5：一貫計算プログラムと BIM ツールの利用状況 (回答数 42 人)

図 2-5 は、一貫計算プログラム別に BIM ツールの利用状況を調べた結果です。ユニオンシステム SS3,SS7 ユーザーの約 7 割が Revit (Autodesk) を使用しています。構造システム BUS-6 ユーザーは GLOBE (福井コンピュータ) と ARCHICAD (グラフィソフト社) を使用しています。

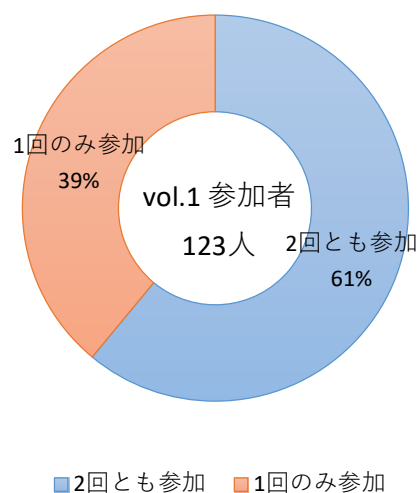


図 2-6 : vol.1 セミナー参加状況

図 2-6 は、vol.1 第 1 回および第 2 回のセミナー参加状況を示しています。vol.1 セミナーは 2 回実施、123 名の方に参加いただきました。2 回とも参加した方は全体の約 6 割という結果になっています。